



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第30号

発行:2008年10月15日  
発行責任者:  
特定医療法人社団 鵬友会  
事務局長 池島 守

## 母子衛生会館 浦島会に出席して

”先輩助産師からの2つの贈り物”

鵬友会 本部 看護統括部長 永澤 直美



はじめに、浦島会について紹介すると、母子衛生会館の旧役員で構成された会で、年1回の会合を持っている。そこでの出来事である。先輩助産師の自己近況報告で「昨年、夫をなくしました。湘南泉病院に3,4回入退院を繰り返し、胃ろうも作り、これから在宅で看護しようという時期にお別れのときが来ました。昨年の5月でした。医師や看護の皆様にはとてもよくして頂きました。最後の日も、私自身専門職ですから、呼吸の状態をみて、お別れのその時が来たなと思いました。看護の方々がその気持ちに寄り添い、家族への連絡など適切な助言を下さり安心して対応することができました。湘南泉病院は本当に良いところでした。感謝しております。」とお褒めの言葉を頂いた。

最近の傾向として、ベットサイドでの細やかなケアは感謝されたり評価されることが、なかなか表面に浮上せず、どちらかというクレームとして顕在化することが多い。

つい先日もそんな思いで、つらいものを感じていた矢先であったので、先輩助産師の言葉をうれしい最高の贈り物と感激した。医療、中でも看護は一生懸命頑張っただけ。少しでも気を緩めると、患者様の安全・安楽を脅かす結果を招きかねない。緊張の連続である。そういうときに褒めて頂く言葉の1つが、どんなに私達看護職の力に

なるかということを実感したできごとであった。

先輩助産師等からのもう1つの贈り物は、神奈川県母子衛生会館である。今はもう存在しない建物ではあるが、昭和30年ごろに助産師会が中心となって資金を集め、助産師のための会館建設を神奈川県に要請した。神奈川県からの回答としては、保健師・助産師・看護師の3者が一緒になっての要請であればということであった。そうした助産師等の努力により、母子衛生会館は昭和32年11月5日に落成式をむかえ、昭和33年には財団法人としての設立許可があり、神奈川県看護協会として使用が開始された。昭和34年に看護学校を卒業し、その建物をみて立派さに驚いた記憶がある。

設立の目的として“県民が健康で文化的な生活ができるよう、保健衛生知識の普及向上、家族計画指導、その他看護職会員の資質を高めるために講習会、講演会、研究会の実施、行政庁の行う保健衛生諸施策に協力するなど”が掲げられた。名実共に、看護職の精神的な拠りどころであり、資質向上の拠点ともなってきた。

それから約40年間が経過し、この実績のもとに、平成9年3月、現在の神奈川県総合医療会館に、神奈川県看護協会は移転することになった。その役割を終えたがその“礎”として、先輩助産師からの“贈り物”として忘れることはできない。

# 横浜ほうゆう病院秋祭り 開催

平成20年10月9日(木)横浜ほうゆう病院にて14時から秋祭りを開催いたしました。

小阪院長の開会の挨拶があり、お神輿の登場です。掛け声も勇ましく、場内を一周し、気分を盛り上げます。入院患者様、デイケア患者様、ご家族様、職員とお御輿をかついだり、盆踊りを踊ったりと楽しい時間を過ごす事ができ、大盛況でした。

秋祭りを開催することにより、交流や親睦を図り、そして信頼関係を深め、一緒に大声で笑って楽しんで頂けたのではないかと思います。

これからも季節折々の行事を催し、笑顔のある病院でありたいと思います。



盆踊りを踊っています!!



第8回

## 市民向け医療・福祉講座 お知らせ

第1部「認知症医療の現状と課題」

第2部「シンポジウム」

横浜ほうゆう病院院長

小阪 憲司

先生

どなたでもご来場頂けます。皆様のご参加をお待ちしております!



平成20年11月18(火)

時間：18：45～20：50

場所：横浜市旭区民文化センター  
サンハート

入場無料 受付18：15～

お申し込み・お問い合わせ先： 特定医療法人社団鵬友会本部

TEL 045-810-0331

FAX 045-810-0371